

【発表会ルーブリック評価 中学生用】

観点	S (素晴らしい)	A (よくできている)	B (あと一歩)	C (今後に期待)
1. 構成のわかりやすさ 批判的思考力 表現力	目的から考察まで論理的に結びつき、構成が一貫しており、全体像がわかりやすい。	全体の流れは明確だが、一部つながりが弱く、全体像がつかみにくい部分がある。	必要な要素は含まれているが、関係性の説明が全体的に不足し、全体像が分かりにくい。	各要素のつながりがなく構成に一貫性がないため、全体像をつかむことが難しい。
2. 課題の背景とリサーチ クエスチョン 仮説構築力 社会に開かれた姿勢	詳細な先行研究や事実から、さまざまな観点から何を明らかにしたいのかを明確に説明できている。	何を明らかにしたいのかが明確ではあるものの、先行研究や事実からリサーチクエスチョンへのつながりが一面的である。	何を明らかにしたいのかが明確ではあるものの、先行研究や事実を充分ふまえることができていない。	何を明らかにしたいのかが不明確で、先行研究や事実についての説明が不足している。
3. 研究の意義 未知への好奇心 社会に開かれた姿勢	自分たちの探究活動が誰にどのような貢献をすることができるか説明できている。	自分たちの探究活動がもたらす価値についての説明がやや弱い。	自分たちの探究活動がもたらす価値についての説明が不足している。	自分たちの探究活動がもたらす価値についての説明がない。
4. 研究方法の適切さ 手続き的知識 情報活用能力	最適な方法を比較検討して選択し、具体的に説明している。	適した方法は選択できているが、なぜその方法が最適なのかという理由の説明が不十分である。	方法は示されているが、その方法を選択するに至った経緯が具体的に説明されていない。	研究方法がほとんど示されておらず、検証につながる計画が立てられていない。
5. 結果の解釈と考察 批判的思考力 メタ認知能力	結果を客観的に分析し、仮説と関連付けて多角的に考察できている。	結果に基づく考察はできているが、視点が一つに限られ、考察が深まっていない。	結果の説明に留まり、それが仮説とどう関係するのか、何を意味するのかという考察がほとんど行われていない。	得られた結果と自身の意見・感想が混同しており、事実に基づく考察がない。
6. 発表の明瞭さ 表現力	聞き手を常に意識し、言葉・声・視線まで工夫した対話的な発表を行っている。	全体の流れは分かりやすいが、表現が単調で、聞き手への工夫が不足している。	原稿に沿って説明しているが、聞き手をまったく意識しておらず、一方的な情報伝達になっている。	資料を読むことに終始しており、声量不足などもあり、内容が聞き手にほとんど伝わっていない。
7. 視覚的表現のデザイン 表現力 情報活用能力	図表や配色が工夫され、メッセージが瞬時に伝わり、発表の説得力を高めている。	図表で整理されているが、見せ方に工夫がなく、どの情報が重要なのか分かりにくい。	必要な情報は含まれているが、配置が整理されておらず、聞き手の理解を助けていない。	文字情報の羅列になっており、視覚的な情報が活用されていない。
8. 質疑応答 批判的思考力 協働する力	質問の意図を的確に汲み取り、自分たちの研究から導き出した根拠に基づいて応答することで、対話を深めている。	質問を理解し自分の考えを答えているが、研究データとの関連付けが不足している。	質問の意図を正確に理解できず、回答がずれたり、自分の感想を述べたりするに留まっている。	感情的に応答したり、「分かりません」が多く、対話を深めようとする姿勢が見られない。